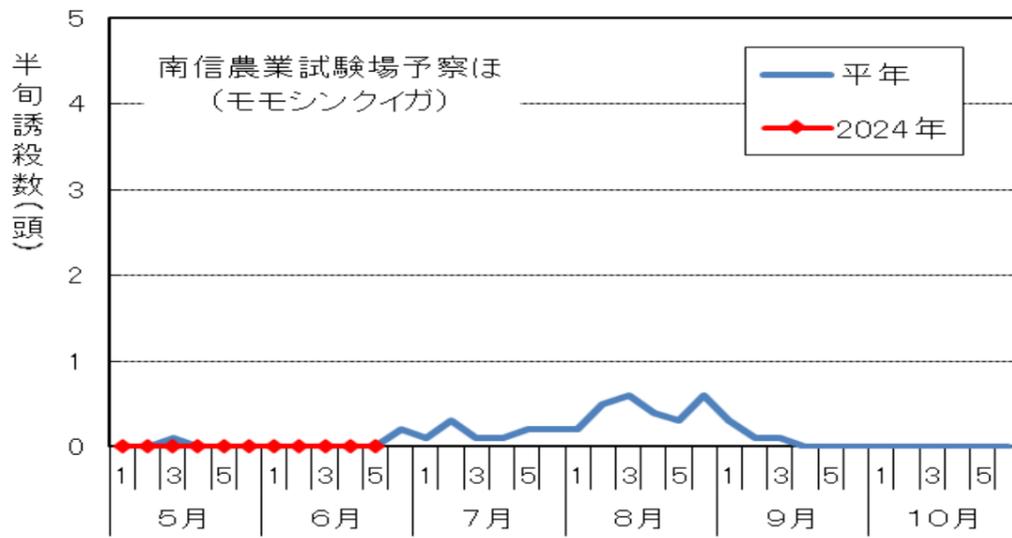


なしのシンクイムシ類のフェロモントラップ誘殺消長（南信地域） （令和6年（2024年）調査）

長野県病害虫防除所



【発生生態と防除のポイント】

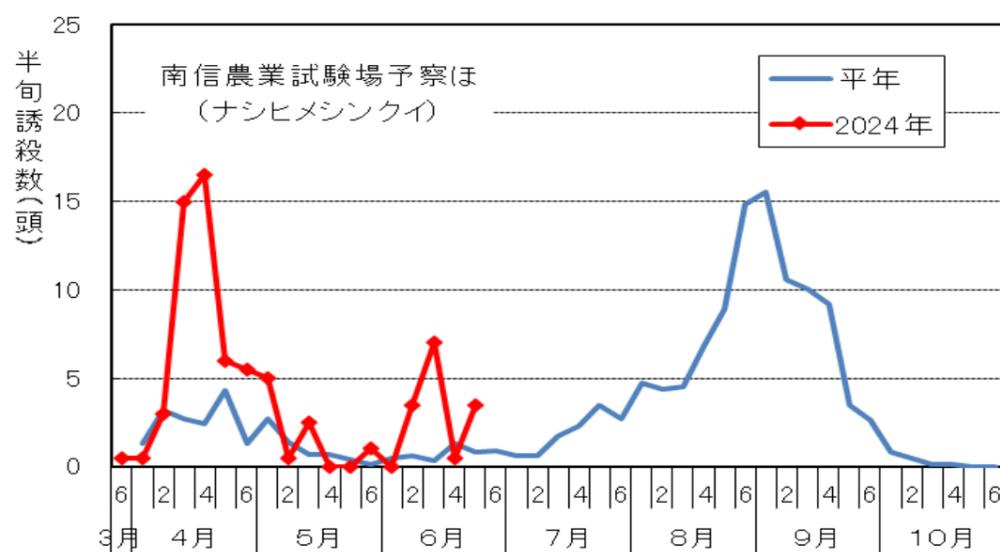
- ・標高 600m以下の平地では年 2 回発生が多い。
- ・越冬世代成虫は、6月上旬から出現し、7月上中旬が発生最盛期となる。産卵は、がくあ部に産み付けられることが多い。
- ・第1世代成虫は8月上旬から発生し、発生最盛期は8月中下旬である。
- ・薬剤防除は、卵、食入前のふ化幼虫を対象に、成虫の発生期を中心に行う。
- ・7月上中旬と8月中下旬は重要な防除時期である。

【調査地点】（標高約 560m）

- ・高森町（南信農業試験場 なしほ場）
- ・平年は 2014 年～2023 年の平均値。

【コメント】

- ・6月第5半旬まで、誘殺されなかった。



【発生生態と防除のポイント】

- ・平地では年 4 回発生する。
- ・越冬世代成虫は平地では4月下旬～5月上旬に発生する。産卵は、果実がまだ無いので新梢先端部にされ、新梢内を食害して心折れ被害となる。
- ・第1世代成虫は6月下旬、第2世代成虫は8月上旬、第3世代成虫は9月上旬を中心に発生する。第1世代成虫以降の産卵は、主に果実にされる。
- ・薬剤防除は、卵、食入前のふ化幼虫を対象に、成虫の発生期を中心に行う。
- ・7月上旬から9月上旬は重要な防除時期である。

【調査地点】（標高約 560m）

- ・高森町（南信農業試験場 なしほ場）
- ・平年は 2014 年～2023 年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、6月第3半旬が平年と比べやや多い。